

1 策定の背景と趣旨

平成 27 年 4 月 1 日に施行された改正後の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、教育、学術及び文化振興に関する施策の大綱を定めるものとされました。

この大綱は、本村の教育に関する基本的な計画として、教育、学術及び文化の振興に関する施策の取り組み方針について、同法第 1 条の 4 第 1 項に定める村長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において協議の上策定するものとする。

2 教育大綱の位置づけ

この大綱は、当村の教育行政の基本指針となるものです。南牧村第 6 次総合計画前期基本計画（令和 6 年度～令和 10 年度）における村づくりの目標を基本として、教育と文化の分野における基本目標及び重点的に取り組むべき基本施策の方向性を示しています。

3 教育大綱の実施期間

この大綱は、令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間を実施期間とします。

ただし、社会情勢等の変化等により必要に応じて見直しをするものとする。

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
基本構想	R6（2024）～R15（2033）年度（10 年間）									
基本計画	前期 R6（2024）～R10（2028）年度					後期 R11（2029）～R15（2033）年度				
教育大綱		R7（2025）～R11（2029）年度								

4 南牧村の基本理念と基本施策

- 理念 1 “南牧村らしさ”を伸ばす
- 理念 2 “一人ひとりの笑顔”をつくる
- 理念 3 “安全・安心”を守る
- 理念 4 “持続可能なむら”をつくる

- 基本政策 3 生きる力を育み、個性や能力を伸ばす教育の推進
- 基本政策 4 自分らしく、いきいきと暮らせるむらづくり
- 基本政策 5 多様な交流と地域文化の振興

5 めざす姿

一律一様の教育から「個別最適な学び」への転換と、「協働的な学び」の推進による多様な他者との対話と協働により、一人ひとりが多様な幸福を追求し、新しい価値やよりよい社会を創造する力を育むことができるよう、めざす姿を次の通り定めます。

【めざす子どもの姿】

- 自分も相手も大切にできる子
- 想像力を働かせ、自分で考えて判断できる子
- 南牧村を愛する子
- チャレンジする勇気を持てる子



☆地域みんなで子どもを育てる 《大人も学ぶ 共育ち・共学び》の村

6 教育大綱

(1) 子どもを育む

南牧村の広大で美しい自然環境は、豊かな情操を育くみ、強じんな意志と体力を培うことを可能としている。その南牧村の特性を活かし、地域に根差した学校教育活動を行うとともに、幼少期から一貫した学習環境を整えることにより、郷土を愛し、そこで育つことに誇りを持ち、生涯にわたって学び続ける力の育成に努める。

- 1 少人数であることを生かした、9年間の連続した学びの構築
- 2 新しい学びを支える安全で快適な教育環境の再編と整備
- 3 地域全体で子どもの成長を支えるために、信州型コミュニティスクールや地域学校協働活動を再構築し、地域に開かれた学校を目指す。
- 4 個性の伸長と、学力、情操、創造力、体力のバランスの取れた児童生徒の育成
- 5 郷土への愛着と誇りを育む「ふるさと学習」の推進
- 6 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る
- 7 他地域等との交流学習や実体験による多様な学びの推進

(2) 地域を育む

南牧村は広大な村域を有し、ハケ岳連峰や千曲川などの雄大な自然環境に恵まれている。また、矢出川遺跡群をはじめとした貴重な考古学的史料や、各地区に伝えられる「かんがり」・「獅子舞い」・「十日夜」などの伝統行事が先人の努力のもとに今に伝えられている。他方で人口減少の進展に伴い住民の自主的な社会教育活動の継続が困難となりつつあるとともに、就業構造の特性により主たる生涯学習・文化活動の活動時期は冬期間に限定されるという特徴を持っている。

村民一人ひとりが、豊かな人生を送ることができるよう村ぐるみで学びあい、自己の人格を磨き、人と人がつながる活力ある地域づくりを推進し、文化の創造と発展を目指します。

- 1 自分らしく生き生きと暮らしていくための、生涯を通じて学びあえる環境の整備
- 2 子どもから大人まで、体力などの向上を図るためのスポーツ活動の推進
- 3 地域学習を通して、地域の連帯意識の向上を図る。
- 4 豊かな自然環境の保全並びに地域の歴史・伝統・文化財の継承および保存と活用
- 5 様々な人とのふれあい、交流活動の場の創生

南牧村教育大綱

【めざす子どもの姿】

- 自分も相手も大切にできる子
- 想像力を働かせ、自分で考えて判断できる子
- 南牧村を愛する子
- チャレンジする勇気が持てる子



☆地域みんなで子どもを育てる

《大人も学ぶ 共学び・共育ち》の村

（１）子どもを育む

- １ 少人数であることを生かした、９年間の連続した学びの構築
- ２ 新しい学びを支える安全で快適な教育環境の再編と整備
- ３ 地域全体で子供の成長を支えるために、信州型コミュニティスクールや地域学校協働活動を再構築し、地域に開かれた学校を目指す。
- ４ 個性の伸長と、学力、情操、創造力、体力のバランスの取れた児童生徒の育成
- ５ 郷土への愛着と誇りを育む「ふるさと学習」の推進
- ６ ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る
- ７ 他地域等との交流学习や実体験による多様な学びの推進

（２）地域を育む

- １ 自分らしく生き生きと暮らしていくための、生涯を通じて学びあえる環境の整備
- ２ 子どもから大人まで、体力などの向上を図るためのスポーツ活動の推進
- ３ 地域学習を通して、地域の連帯意識の向上を図る。
- ４ 豊かな自然環境の保全並びに地域の歴史・伝統・文化財の継承および保存と活用
- ５ 様々な人とのふれあい、交流活動の場の創生